

## 秋田市商業振興ビジョンの目的

### 1. 策定の背景

秋田市の商業は、周辺市町村での大型 SC の増加などの都市間競争や、消費者の品質・安全志向や少子高齢化などの消費者ニーズの変化、人口減少によるマーケット縮小など様々な環境変化が進んでいます。既に秋田市自体の人口も減少に向かっており、秋田市商業は未だ経験したことがない人口減少社会に直面しています。

今後、秋田市商業が市外を含めた消費者の支持を失い、競争力が維持できない場合には、事業所数や従業者数の減少に伴う所得・消費の減少が、更に商業活動の衰退を誘発し、衰退が加速していく恐れがあります。また、消費者サイドでは、地域によっては、身近な商店が無くなり、遠くまで買い物に行かなければならないなど日常の買い物に不自由が生じる恐れもあります。

個店の経営者においては、立地環境の変化や個々の消費者ニーズに対応した新たな商品・サービスを提供し、独自の個性や魅力をさらに高め、顧客に支持される店づくりを行うことが重要であり、IT の活用や新たなマーケット開拓も課題となっています。

商店街においては、消費者ニーズに対応した競争力のある個店の集合体であることはもとより、地域の特色を活かした魅力ある商店街づくりが求められています。

今後も、秋田市商業が、社会環境や消費者ニーズの変化などに対応してその魅力を維持し、消費者の支持を得るべく、秋田市商業の方向性を検討するとともに、商業者・商店街自らの積極的な取り組みの促進を目的として、秋田市商業振興ビジョンを策定するものです。

### 2. ビジョンの位置付け

#### (1) 総合計画、関連計画

第 11 次秋田市総合計画(平成 19 年 3 月策定)

秋田市中小小売商業活性化ビジョン(平成 7 年 3 月策定)

#### (2) 位置付け

本ビジョンは、上位計画である「第 11 次秋田市総合計画」の方向性や趣旨に基づき、「秋田市中小小売商業活性化ビジョン」を全面改訂し、策定するものです。

### 3. ビジョンの目標

第 11 次秋田市総合計画の将来都市像「しあわせ実感 緑の健康文化都市」の 5 つの分野別将来都市像のひとつである「豊かで活力に満ちたまち」に基づき、「市民(消費者)が豊かで活力の満ちたまちで暮らすこと」を目指すため、消費者の支持(顧客満足度)を得るための商業者の自助努力を促すとともに、商業者、地域住民(市民)、行政、関係団体の役割・機能を明確にし、それぞれがその実現に向けて取り組むことを目標としています。

具体的には、本ビジョンの中で次の内容を盛り込みます。

- (1) 将来環境変化の動向の把握、秋田市商業の方向性に関すること。
- (2) 商業者の自主的な取り組みの促進に関すること。
- (3) 商業者、地域住民、行政、関係団体等の役割・機能の明確化、連携方法に関すること。
- (4) 各商店街自らが取り組む中・長期計画の作成に関すること。

#### 4. ビジョンの構成と計画期間

本ビジョンの構成は、「本編」と「商店街個別計画編」の2部構成となっています。

「本編」では、第1章として秋田市商業の現状を把握し、第2章として秋田市商業の方向性などを示します。「商店街個別計画編」では、個々の商店街が今後自ら取り組むとした内容を記載した商店街ごとの個別計画をまとめる予定となっています。

本ビジョンの計画期間は、上位計画である「第11次秋田市総合計画」の全体計画期間と同一の平成19年度から平成27年度とします。

なお、商業環境の変化は急速であることから、「本編」は、概ね3年ごとに内容を見直すこととし、商店街の個別計画は商店街自身が、概ね3年ごとの定期見直しを行うとともに、立地環境などの変化が著しい場合には、随時見直しを図るものとします。

#### 5. ビジョンの策定手順

このビジョンの「本編」は、消費者、商業者・商工団体、関係機関等で構成する「秋田市商業振興ビジョン策定委員会」の内容審議を経て、決定したものです。策定委員会の審議に先立って、商店街や商工団体等で構成する「秋田市商業振興ビジョン専門部会」において、事務局素案を基にして、内容の検討を重ねました。

「商店街個別計画編」は、各商店街の個別の中・長期事業計画をとりまとめたものです。各商店街が自ら作成し、事務局がヒアリングを行い、専門部会等の助言などに基づいて必要な修正を行い、各商店街の総会での決定を経て、策定委員会で最終承認します。